

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|------------|--|--|
| 事故等番号 | 2009横第284号 | |
| 事故等種類 | 衝突 | |
| 発生日時 | 平成21年8月15日（土） 10時29分ごろ | |
| 発生場所 | 三重県四日市市四日市港 四日市港東防波堤北灯台から真方位336° 3, 380m付近 (概位 北緯34° 59.7′ 東経136° 39.3′) | |
| 事故等調査の経過 | 平成21年12月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | <p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 水上オートバイ メリージェン、5トン未満（長さ2.70m） 243-28186三重、個人所有</p> <p>B 水上オートバイ メリージェン^{みかい}美海、0.1トン 243-37971三重、個人所有</p> | |
| 乗組員等に関する情報 | <p>A 船長、特殊小型船舶操縦士</p> <p>B 船長、特殊小型船舶操縦士</p> | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | <p>A 右舷中央部に浸水を伴う破口</p> <p>B 船首部防舷帯脱落</p> | |
| 事故等の経過 | <p>A船は、船長Aが1人で乗り組み、四日市港の所属マリーナ北東方200m付近で蛇行運転を行いながら遊走中、B船は、船長Bが1人で乗り組み、A船を追走しようと思って所属マリーナ棧橋を出発し、時速約30km/hの速力で直進して航行中、平成21年8月15日10時29分ごろ、A船の右舷中央部とB船の船首部とが衝突した。</p> <p>船長A及び船長Bは、衝突の衝撃により落水したが、救助されて死傷者はいなかった。</p> | |
| 気象・海象 | <p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1</p> <p>海象：平穏</p> | |
| その他の事項 | 船長A及び船長Bは、ともに救命胴衣を着用していた。 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、四日市港において蛇行運転を行いながら遊走中、船長Aが、適切な見張りを行わなかったため、B船がA船を追走して右舷方から接近していることに気付かず右に急転舵したものと考えられる。</p> <p>B船は、A船を追走中、船長Bが、左舷前方で蛇行運転を行っていたA船との船間距離を取らなかったため、B船の船首方へ急に転舵してきたA船を避けることができなかったものと考えられ</p> |

| | |
|----|---|
| | る。 |
| 原因 | 本事故は、四日市港において、A船が蛇行運転を行いながら遊走中、B船がA船を追走中、A船が適切な見張りを行わずにB船の船首方に転舵し、また、B船がA船との船間距離を取らなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。 |